

2026 年 7 月 15 日

学生各位

商 学 部

生成 AI の利用に関する取り扱いと注意事項

商学部およびその設置科目における生成 AI の利用に関しては、以下のとおり取り扱います。

【生成 AI の利用可否】

- ①原則：生成 AI については、担当教員から特段の指示がない場合には利用して差し支えありません。
- ②例外：ただし、担当教員が生成 AI の利用を禁止あるいは制限した場合や、使用方法を指示した場合には、担当教員の指示にしたがってください。

【利用方法】

- ・生成 AI を利用してレポートやゼミ論文等を作成した場合には、担当教員の指示にしたがって、どのように利用したのかを必ず明記してください。
- ・生成 AI が作成した内容をレポートやゼミ論文等に利用する場合にも、生成 AI の作成内容には多くの誤りやバイアスが含まれる可能性があることに十分に注意しましょう。
そのため、生成 AI が作成した内容の正誤や信憑性等を確認する作業が必須です。この作業を必ず実施した上で、最終的には自らの責任において、レポートやゼミ論文等に利用することとしてください。

【不正行為】

- ・担当教員が生成 AI の利用を禁止・制限しているにもかかわらず、無断で利用して、レポートやゼミ論文等を作成し提出した場合、不正行為として懲戒処分の対象になります。
(停学処分、当該学期全科目不可)
- ・生成 AI が作成した内容を流用し、レポートやゼミ論文等の全部あるいは主要部分を作成・提出する行為は、代作にあたり、不正行為として懲戒処分の対象になります。
- ・生成 AI 自体が剽窃、不適切な引用、改ざん、捏造等を行った場合に、その内容を利用してレポートやゼミ論文等を提出した本人も、不正行為として懲戒処分の対象になります。

【情報漏洩リスク】

- ・オンラインの生成 AI に情報を入力することは、入力した内容をインターネット上で他者と共有することにもつながります。特に、個人情報等を収集される可能性があることに十分な注意が必要です。

【最後に】

成績評価手段の一つであるゼミ論文やレポートの作成は、これまで学んだ内容に関して思索を深め、文献調査能力・読解力・思考力・表現力・問題解決力等を陶冶する重要な機会です。また、オンライン試験は、各学生の学修到達度を測るために実施されるものであり、学生が自らの成長を確認する機会でもあります。

生成 AI を利用することは原則的に認めますが、担当教員の指示に反する等、生成 AI を不適切に利用することで、その貴重な機会を自ら放棄し、学生生活を無駄にすることのないよう、注意喚起をしておきたいと思います。

以 上